

2 (3) 授業の質的改善のプロセス

ア A校（第4学年）の実践

(7) 手引きを活用した授業の質的改善の推移

2 (2) 授業の見直しと質的改善を図るための手立てに沿って、実際に授業の質的改善を図ったA校第4学年の実践を紹介します。まず、チェックリスト（図1）で改善をどこから始めるか決めました。

【チェックリスト】	
手引きを使う前に、以下の質問に教えてください。 toppage	
Q 1 社会科の単元づくりを、「問題解決的な学習」を意識して行っていますか？ ※「問題解決的な学習」とは、「①社会的事象と出会う ②学習問題を見いだす ③予想や学習計画を考える ④予想や学習計画に基づいて追究する ⑤調べて分かったことや考えたことをまとめる ⑥新たな問題を見いだす」の学習展開で構成された単元計画とします。	
A : 行っている → Q 2 へ	A : さあ、授業改善のスタートだ。まずは、簡単なチェック！自分のスタートラインはどこだろう？クリックしよう。 注意：画像はイメージです。リンクしていません
Q 2 次の項目に幾つ当てはまりますか。 ☒ 児童の「あれ？」「どうしてかな？」「こうなんじゃ」疑問や予想を引き出している。 ☐ 学習問題を児童の言葉を引き出しながらつくっている。	
A : 2つ当てはまる。 → Q 3 へ	A : 0又は1つ当てはまる Click
Q 3 次の項目に幾つ当てはまりますか。 ☐ 学習問題を解決するために、何を調べるとよいのか見通しをもたせている。 ☐ 学習問題を解決するために、どんな方法で調べるとよいのか見通しをもたせている。 ☐ 学習問題の答えを予想させている。	
A : 3つ当てはまる。 → Q 4 へ	A : 0又は1つ～2つ当てはまる。 Click
Q 4 次の項目に幾つ当てはまりますか。 ☐ 調べることを明らかにして、調べ学習ができるようにしている。 ☐ 調べたことを、ペアやグループ、学級全体で共有するようにしている。 ☐ 調べたことをもとに、考えることができるようにしている。 ☐ 考えたことを、ペアやグループ、学級全体で交流するようにしている。	

図1 チェックリスト

指示された「手引き」のページ



学習過程 観点	課題把握		課題追究		課題解決	新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り
知識			(1) 個別の具体的な知識に関する内容を記述することができる。□⇒C①②③④⑤ (2) 個別の具体的な知識に関する内容を関連付けて（つなげて）、記述することができる。□⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⇒D①⑥⑩ (3) 個別の具体的な知識に関する内容を総合して（まとめて）、記述することができる。□⇒C①②③④⑤⇒D①⑧⑨⑩⑪⇒E①②③④			
技能 (収集する 読み取る まとめる)			(1) 学習問題や学習課題（本時のめあて）を解決するために必要な資料を集めることができる。□⇒C①②③ (2) その資料がどのような資料に分かっている。□⇒C⑥⑦⑧ (3) 事実を正確に読み取っている。□⇒C④⑤⑥⑦⑧ (4) 学習問題や学習課題（本時のめあて）を解決するために有用な情報を選んで読み取っている。□⇒B①⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ (5) 目的や自分の意図に基づいてまとめることができる。□⇒C⑥⑦⑧⑨⑩			
思考・ 判断・ 表現	(1) 資料を基に気付きをもつことができる。□⇒A①② (2) 資料を基に疑問をもつことができる。□⇒A①②③ (3) 疑問に対して、予想をすることがある。□⇒A⑤⑥ (4) 気付きや疑問から、キーワード（問い）をつくることできる。□⇒A④⑤⑥⑦ (5) キーワード（問い）を関連付けて、大きな問いをつくることできる。□⇒A④⑦⑧⑨	(1) 学習問題に対して、予想をすることがある。□⇒B① (2) 自分が調べたいことを考えることができる。□⇒B①② (3) 学習問題を解決するために、何をどのような方法で調べるとよいか、具体的に考えることができる。□⇒B①②③	(1) 本時で分かったことや、以前に学習してきたこと、次から何を考えること ⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪	(1) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考えた上で、一番重視したい立場を選択することができる。□⇒D④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪	(1) 学習した内容から似た事象や当てはまりそうな事象がないか考えることができる。□⇒F④ (2) 調べたいことを考えることができる。□⇒F④	
主体的に学習に取り組む態度	(1) 本時のめあてを解決するために、何を調べるとよいか見通しをもっている。□⇒B①②③⇒C①②③ (2) 今調べたり考えたりしていることが、学習問題の解決のためにどのようにつながっているのか理解している。□⇒B①②③⇒C①②③④ (3) 社会的な事象について、実感や切実感をもって調べたり考えたり、話し合ったりすることができる。□⇒A①②③④⑤⑥⑦⑧⑨ (4) 調べたことや考えたことを基に、今後の生活に生かせることはないか考えることができる。□A①⇒F①②③④					

(1) から順番に
チェックしよう。



学級全体と抽出児（図 1）の分析を基に、三つの資質・能力「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」が身に付いたのかどうかを検証しました。検証においては、新しい評価の 3 つの観点に沿って分析・考察します。ただし、「知識・技能」は、現行の評価の観点「社会的事象についての知識・理解」と「観察・資料活用の技能」として、「主体的に学習に取り組む態度」は、現行の評価の観点「社会的事象への関心・意欲・態度」とほぼ同じと捉えて、評価・分析することにしました（表 1）。

L 児	
	社会的事象への関心はさほど高くはないが、知識は豊富である。話し合いなどでは進んで発言をし、友達の意見を参考にしながら、自分の考えを表現することができる。

図 1 抽出児のプロフィール

表 1 新学習指導要領と現行の学習指導要領の評価の観点

新学習指導要領	現行の学習指導要領
知識・技能	社会的事象についての知識・理解
	観察・資料活用の技能
思考・判断・表現	社会的な思考・判断・表現
主体的に学習に取り組む態度	社会的事象への関心・意欲・態度

【実践 1】 6 月～7 月実践

学習過程	課題把握		課題追究		課題解決	新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り
知識	(1) 個別の具体的な知識に関する内容を記述することができる。☑⇒C①②③④⑤ (2) 個別の具体的な知識に関する内容を関連付けて（つなげて）、記述することができる。☐⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⇒D①⑩⑪ (3) 個別の具体的な知識に関する内容を総合して（まとめて）、記述することができる。☐⇒C①②③④⑤⇒D①⑧⑨⑩⑪⇒E①②③④					
技能 (収集する読み取るまとめる)	(1) 学習問題や学習課題（本時のめあて）を解決するために必要な資料を集めることができる。☑⇒C①②③ (2) その資料がどのような資料に分かっている。☐⇒C⑥⑦⑧ (3) 事実を正確に読み取っている。☐⇒C④⑤⑥⑦⑧ (4) 学習問題や学習課題（本時のめあて）を解決するために有用な情報を選んで読み取っている。☐⇒B①⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ (5) 目的や自分の意図に基づいてまとめることができる。☐⇒C⑥⑦⑧⑨⑩⑪					
思考・判断・表現	(1) 資料を基に気付きをもつことができる。☑⇒A①② (2) 資料を基に疑問をもつことができる。☐⇒A①②③ (3) 疑問に対して、予想を考察することができる。☐⇒A⑤⑥ (4) 気付きや疑問から、キーワード（問い）をつくることができる。☐⇒A④⑤⑥⑦ (5) キーワード（問い）を関連付けて、大きな問いをつくることができる。☐⇒A④⑦⑧⑨	(1) 学習問題に対して、予想を考察することができる。☐⇒B① (2) 自分が調べたいことを考察することができる。☐⇒B①② (3) 学習問題を解決するために、何をどのような方法で調べるとよいか、具体的に考察することができる。☐⇒B①②③	(1) 本時で分かったことを基に、学習問題の解決のために次から何を調べるとよいか考察することができる。☐⇒C①②③④⑤⑥ (2) 資料を使って意見を述べたり、記述したりすることができる。☐⇒D②③④⑤ (3) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考察することができる。☐⇒D④⑤⑥⑦ (4) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考えた上で、一番重視したい立場を選択することができる。☐⇒D④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪	(1) 調べた事実を基に、考えられることを導き出すことができる。☐⇒C⑩⇒D①②③ (2) 資料を使って意見を述べたり、記述したりすることができる。☐⇒D②③④⑤ (3) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考察することができる。☐⇒D④⑤⑥⑦ (4) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考えた上で、一番重視したい立場を選択することができる。☐⇒D④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪	(1) これまでに学習してきたことを基に、自分の考えをもつことができる。☐⇒E①②③④ (2) 友達のを比較・関連付け、意見を述べたり、記述したりすることができる。☐⇒E①②③④	(1) 学習した内容から似た事象や当てはまりそうな事象がないか考察することができる。☐⇒F④ (2) 新たに調べたいことを考察することができる。☐⇒F①②③
主体的に学習に取り組む態度	(1) 本時のめあてを解決するために、何を調べるとよいか見通しをもっている。☑⇒B①②③⇒C①②③ (2) 今調べたり考えたりしていることが、学習問題の解決のためにどのようにつながっているのか理解している。☑⇒B①②③⇒C①②③④ (3) 社会的な事象について、実感や切実感をもって調べたり考えたり、話し合ったりすることができる。☐⇒A①②③④⑤⑥⑦⑧⑨ (4) 調べたことや考えたことを基に、今後の生活に生かせることはないか考察することができる。☐A①⇒F①②③④					

☑ …できていると判断した児童の姿

☐ …今月実践の単元で目指す児童の姿

学習過程	課題把握		課題追究		課題解決	新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り
手立て	A①身近なことを題材に挙げる。☑ A②資料提示の工夫（資料の一部を隠すなど）を行う。☐ A③題材に対して気付きや疑問をもたせる。☐ A④気付きや疑問を教師が意識的に仲間（キーワード）分けして板書する。☐ A⑤気付きや疑問に対して、問い返しをしながら、児童に予想を出させる。☐ A⑥自分の考えをもちやすい場面（予想など）で、自分と相手の意見が同じか違いか考えさせながら対話させる。☐ A⑦気付きや疑問を基に、調べていきたいことを考えさせる。☐ A⑧調べていきたいことを学習問題として書かせる。☐ A⑨個別にもった学習問題を全体で交流し、学習問題を設定する。☐	B①学習問題の解決のために何を調べるとよいかを考えさせる。☐ B②調べるとよいか考えたことをグループで話し、何から調べたらよいか考えさせる。☐ B③学習問題の解決のために何を調べるとよいか調べる方法を考えさせる。☐	C①学習問題を明確にする。☑ C②調べたことを図や表に表し、単元全体を見通すことができるようにする。☑ C③学習問題と学習計画を教室内に掲示し、常に振り返らせる。☑ C④調べる内容（視点）を確認する。☐ C⑤調べる内容について、予想をさせる。☐ C⑥資料（写真、教科書等の文章等）を一つずつ確認し、どのようなことが分かる資料なのか考えさせる。☐ C⑦教師が提示した資料で調べさせる。☐ C⑧立場ごとに、資料を分けて提示する。☐ C⑨様々な資料を見せ、読み取りの視点を増やす。☐ C⑩学習問題や学習課題（本時のめあて）の解決に必要な情報であるのか考えさせる。☐ C⑪調べた内容をペアやグループで伝え合わせ、確認させる。☑ C⑫調べた内容について、問い返して、事実を相互に関連付けて考えさせる。☐ C⑬学習問題について、学習課題（本時のめあて）とのつながりを考えて記述させる。☐	D①事実を調べた後に、意味を問う発問を段階的に行う。☐ D②調べた事実と考えを明確に分けさせる。☐ D③根拠となる資料を確認する。☐ D④話し合いの目的・ゴールを示す。☐ D⑤考えをペアやグループで伝え合わせる。☐ D⑥視点を基に、考えをもたせる。☐ D⑦視点同士を比較させ、考えをもたせる。☐ D⑧まとめ方を例示する。☐ D⑨キーワードを挙げる。☐ D⑩まとめ方に関する判定基準を示す。☐ D⑪掲示物を活用し、これまでの学習を振り返らせる。☐	E①単元全体のまとめ方を例示する。☐ E②キーワードを挙げる。☐ E③単元全体のまとめ方に関する判定基準を示す。☐ E④ノートやワークシート、掲示物などを活用し、これまでの学習を振り返らせる。☐	F①新たな学習問題を提示する。☐ F②社会的問題を含んだ資料を提示し、学習問題を設定する。☐ F③ゲストティーチャーに新たな学習問題につながる情報を話してもらふ。☐ F④学んだことと自分たちの生活（自分にできること）をつなげて考えさせる。☐

☑ …現在取り入れていると判断した手立て

☐ …今月実践の単元で取り入れることを決定した手立て

単元「水はどこから」

目指す姿（主体的に学習に取り組む態度）
社会的事象について、実感や切実感をもって調べたり考えたり、話し合ったりすることができる。
取り入れた手立て（手引きの記号、番号）
資料提示の工夫（資料の一部を隠すなど）を行う。（A②）

以下のような児童の様子が見られた（授業ビデオによる分析）。 ・資料提示の工夫を行ったことで、水道水が蛇口から出てくるまでの過程について、児童が疑問や予想を口々につぶやく姿を見ることができた。 ・ペアで、疑問や予想を活発に伝え合う姿を見ることができた。
【考察】 ○・・・成果、●・・・課題 ○資料提示の工夫を行うことで、児童からたくさんの疑問や予想を引き出すことができた。 ●導入においてもたせた社会的事象に対する実感や切実感を継続させていくには、毎時間学習問題を意識させることが必要である。

目指す姿（知識）
個別の具体的な知識に関する内容を関連付けて（つなげて）、記述することができる。
取り入れた手立て（手引きの記号、番号）
調べた内容について、問い返して、事実を相互に関連付けて考えさせる。（C⑫）

児童のワークシートの記述を基に、以下のA、B、Cの判定基準で評価を行った。 A 水をきれいにする仕組みについて、「場所（施設）」「方法・手順」「人の働き・思い」の視点を全て関連付けて、記述している。【7名】 B 水をきれいにする仕組みについて、「場所（施設）」「方法・手順」「人の働き・思い」のうち2つの視点を関連付けて、記述している。【6名】 C Bに達していない。【9名】
【抽出児の記述】 場所は浄水場で知りました。方法は、①取水口で水を取って、②かつせい炭③ちようせい地④ちんでん池⑤ろか地⑥えんそ注入⑦配水池 ④ちんでん池では、固まりになったごみを沈めます。人の働き・思いは、24 時間休みなく水をつくるということが分かりました。
【考察】 「場所（施設）」「方法・手順」「人の働き・思い」の視点を関連付けながら記述をさせたが、L児のように調べた事実を羅列的に記述しただけの評価Cの児童が9名いた。次の単元では、対話的な活動を取り入れ、事実相互のつながりを意識させるために、C⑪の手立て「調べた内容をペアやグループで伝え合わせ、確認する」を取り入れたい。

目指す姿（技能）
その資料がどのような資料か分かっている。
取り入れた手立て（手引きの記号，番号）
資料（写真，教科書等の文章等）を一つずつ確認し，どのようなことが分かる資料なのか考えさせる。 （C⑥）
教師が指示した資料で調べさせる。（C⑦）

児童のワークシートの記述を基に，以下の A，B，C の判定基準で評価を行った。
A 資料から分かる事実に意味付けをして記述している。【10 名】
B 資料から分かる事実のみを記述している。【10 名】
C B に達していない。【2 名】
【抽出児の記述】
300 リットルとか，とてもたくさん水を使っていると思いました。平成 19 年度が一番使っています。
【考察】
資料を一つずつ確認し，どのようなことが分かる資料なのか考えさせたことで，L 児のように資料の意味を理解して読み取った児童が増えてきた。成果が少しずつ出ていると判断したため，今後も継続して取り組んでいく。

目指す姿（思考・判断・表現）
資料を基に疑問をもつことができる。
取り入れた手立て（手引きの記号，番号）
資料提示の工夫（資料の一部を隠すなど）を行う。（A②）

児童のワークシートの記述を基に，以下の A，B，C の判定基準で評価を行った。
A 資料を基に水をきれいにする方法に加え，「場所」や「関わる人」の視点をもって疑問を記述している。【5 名】
B 資料を基に水をきれいにする方法について疑問を記述している。【15 名】
C B に達していない。【2 名】
【抽出児の記述】
ごみとか落ち葉が入っていないから，どうやってごみを取り除いているのか。
【考察】
約 9 割の児童が資料を基に疑問をもつことができたが，L 児のように，水をきれいにする方法についてのみ疑問をもつ児童が多かった。資料提示の工夫は効果が出ていると考えられるが，様々な追究の視点で疑問をもたせるまでには至っていない。授業者は，本単元における追究の視点を更に意識して資料提示の工夫を行う必要がある。

6 月～7 月の実践を終え、チェックリストで 1 学期の実践を振り返りました。

【チェックリスト】	
手引きを使う前に、以下の質問に教えてください。 toppage	
Q 1 社会科の単元づくりを、「問題解決的な学習」を意識して行っていますか？	
※「問題解決的な学習」とは、「①社会的事象と出会う ②学習問題を見いだす ③予想や学習計画を考える ④予想や学習計画に基づいて追究する ⑤調べて分かったことや考えたことをまとめる ⑥新たな問題を見いだす」 の学習展開で構成された単元計画とします。	
A : 行っている → Q 2 へ	A : 行っていない Click
Q 2 次の項目に幾つ当てはまりますか。	
☒ 児童の「あれ？」「どうしてかな？」「こうなんじゃないかな？」といった疑問や予想を引き出している。 ☒ 学習問題を原章の言葉を引き出しながらつづっている。	
A : 2 つ当てはまる。 → Q 3 へ	A : 0 又は 1 つ当てはまる。 Click
Q 3 次の項目に幾つ当てはまりますか。	
☐ 学習問題を解決するために、何を調べるとよいのか見通しをもたせている。 ☐ 学習問題を解決するために、どんな方法で調べるとよいのか見通しをもたせている。 ☐ 学習問題の答えを予想させている。	
A : 3 つ当てはまる。 → Q 4 へ	A : 0 又は 1 つ～2 つ当てはまる。 Click
Q 4 次の項目に幾つ当てはまりますか。	
☐ 調べたことを明らかにして、調べ学習ができるようにしている。 ☐ 調べたことを、ペアやグループ、学級全体で共有するようにしている。 ☐ 調べたことをもとに、考えることができるようにしている。 ☐ 考えたことを、ペアやグループ、学級全体で交流するようにしている。	

指示された「手引き」のページ

学習過程	課題把握		課題追究		課題解決	新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り
知識			(1) 個別の具体的な知識に関する内容を記述することができる。□⇒C①②③④⑤ (2) 個別の具体的な知識に関する内容を関連付けて（つなげて）、記述することができる。□⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⇒D①②③④ (3) 個別の具体的な知識に関する内容を総合して（まとめて）、記述することができる。□⇒C①②③④⑤⇒D①②③④⑤⑥⑦⑧⇒E①②③④			
技能 (収集する 読み取る まとめる)			(1) 学習問題や学習課題（本時のめあて）を解決するために必要な資料を集めることができる。□⇒C①②③ (2) その資料がどのような資料か分かっている。□⇒C⑥⑦⑧ (3) 事実を正確に読み取っている。□⇒C④⑤⑥⑦⑧ (4) 学習問題や学習課題（本時のめあて）を解決するために有用な情報を選んで読み取り取っている。□⇒B①⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ (5) 目的や自分の意図に基づいてまとめることができる。□⇒C⑥⑦⑧⑨⑩			
思考・ 判断・ 表現	(1) 資料を基に気付きをもつことができる。□ ⇒A①② (2) 資料を基に疑問をもつことができる。□ ⇒A①②③ (3) 疑問に対して、予想を考えることができる。□ ⇒A⑤⑥ (4) 気付きや疑問から、キーワード（問い）をつくることができる。□ ⇒A④⑤⑥⑦ (5) キーワード（問い）を関連付けて、大きな問いをつくることができる。□ ⇒A④⑦⑧⑨	(1) 学習問題に対して、予想を考察することができる。□ ⇒B① (2) 自分が調べたいことを考えることができる。□ ⇒A①② (3) 学習問題を解決するために、何をどのような方法で調べるとよいのか、具体的に考えることができる。□ ⇒B①②③	(1) 本時で分かったことを基に、学習問題の解決のために次から何を調べるとよいかを考えることができる。□ ⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	(1) 調べた事実を基に、考えられることを導き出すことができる。□ ⇒C⑩⇒D①②③ (2) 資料を使って意見を述べたり、記述したりすることができる。□ ⇒D②③④⑤ (3) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考察することができる。□ ⇒D④⑤⑥⑦ (4) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考えた上で、一番重視したい立場を選択することができる。□ ⇒D④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪	(1) これまでに学習してきたことを基に、自分の考えをもつことができる。□ ⇒E①②③④ (2) 友達や先生と比較・関連付け、意見を述べたり、記述したりすることができる。□ ⇒E①②③④	(1) 学習した内容から似た事象や当てはまるような事象がないかを考えることができる。□ ⇒F④ (2) 新たに調べたいことを考えることができる。□ ⇒F①②③
主体的に学習に取り組む態度	(1) 本時のめあてを解決するために、何を調べるとよいのか見通しをもっている。□⇒B①②③⇒C①②③ (2) 今調べたり考えたりしていることが、学習問題の解決のためにどのようにつながっているのか理解している。□⇒B①②③⇒C①②③④ (3) 社会的事象について、実感や切実感をもって調べたり考えたり、話し合ったりすることができる。□⇒A①②③④⑤⑥⑦⑧⑨ (4) 調べたことや考えたことを基に、今後の生活に生かせることはないか考えることができる。□A①⇒F①②③④					

【実践 2】 9 月実践

学習過程	課題把握		課題追究		課題解決	新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り
知識			(1) 個別の具体的な知識に関する内容を記述することができる。☑⇒C①②③④⑤ (2) 個別の具体的な知識に関する内容を関連付けて（つなげて）、記述することができる。☐⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⇒D①⑩⑪ (3) 個別の具体的な知識に関する内容を総合して（まとめて）、記述することができる。☐⇒C①②③④⑤⇒D①⑧⑨⑩⑪⇒E①②③④			
技能 (収集する読み取るまとめる)			(1) 学習問題や学習課題（本時のめあて）を解決するために必要な資料を集めることができる。☑⇒C①②③ (2) その資料がどのような資料に分かっている。☐⇒C⑥⑦⑧ (3) 事実を正確に読み取っている。☐⇒C④⑤⑥⑦⑧ (4) 学習問題や学習課題（本時のめあて）を解決するために有用な情報を選んで読み取っている。☐⇒B①⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ (5) 目的や自分の意図に基づいてまとめることができる。☐⇒C⑥⑦⑧⑨⑩			
思考・判断・表現	(1) 資料を基に気付きをもつことができる。☑⇒A①② (2) 資料を基に疑問をもつことができる。☐⇒A①②③ (3) 疑問に対して、予想を考えることができる。☐⇒A⑤⑥ (4) 気付きや疑問から、キーワード（問い）をつくることができる。☐⇒A④⑤⑥⑦ (5) キーワード（問い）を関連付けて、大きな問いをつくることができる。☐⇒A④⑦⑧⑨	(1) 学習問題に対して、予想を考えることができる。☑⇒B① (2) 自分が調べたいことを考えることができる。☑⇒B①② (3) 学習問題を解決するために、何をどのような方法で調べるとよいか、具体的に考えることができる。☐⇒B①②③	(1) 本時で分かったことを基に、学習問題の解決のために次から何を調べるとよいか考えることができる。☐⇒C①②③④⑤⑥ (2) 資料を使って意見を述べたり、記述したりすることができる。☐⇒D②③④⑤ (3) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考えることができる。☐⇒D④⑤⑥⑦ (4) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考えた上で、一番重視したい立場を選択することができる。☐⇒D④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪	(1) 調べた事実を基に、考えられることを導き出すことができる。☐⇒C⑩⇒D①②③ (2) 資料を使って意見を述べたり、記述したりすることができる。☐⇒D②③④⑤ (3) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考えることができる。☐⇒D④⑤⑥⑦ (4) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考えた上で、一番重視したい立場を選択することができる。☐⇒D④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪	(1) これまでに学習してきたことを基に、自分の考えをもつことができる。☐⇒E①②③④ (2) 友達のことを比較・関連付け、意見を述べたり、記述したりすることができる。☐⇒E①②③④	(1) 学習した内容から似た事象や当てはまりそうな事象がないか考えることができる。☐⇒F④ (2) 新たに調べたいことを考えることができる。☐⇒F①②③
主体的に学習に取り組む態度	(1) 本時のめあてを解決するために、何を調べるとよいか見通しをもっている。☑⇒B①②③⇒C①②③ (2) 今調べたり考えたりしていることが、学習問題の解決のためにどのようにつながっているのか理解している。☐⇒B①②③⇒C①②③④ (3) 社会的事象について、実感や切実感をもって調べたり考えたり、話し合ったりすることができる。☐⇒A①②③④⑤⑥⑦⑧⑨ (4) 調べたことや考えたことを基に、今後の生活に生かせることはないか考えることができる。☐A①⇒F①②③④					

☑ …できていると判断した児童の姿

☐ …今月実践の単元で目指す児童の姿

学習過程	課題把握		課題追究		課題解決	新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り
手立て	A①身近なことを題材に挙げる。☑ A②資料提示の工夫（資料の一部を隠すなど）を行う。☑ A③題材に対して、気付きや疑問をもたせる。☑ A④気付きや疑問を教師が意識的に仲間（キーワード）分けして板書する。☑ A⑤気付きや疑問に対して、問い返しをしながら、児童に予想を出させる。☑ A⑥自分の考えをもちやすい場面（予想など）で、自分と相手の意見が同じか違うか考えさせながら対話させる。☐ A⑦気付きや疑問を基に、調べていきたいことを考えさせる。☐ A⑧調べていきたいことを学習問題として書かせる。☐ A⑨個別にもった学習問題を全体で交流し、学習問題を設定する。☐	B①学習問題の解決のために何を調べるとよいかを考えさせる。☑ B②調べるとよいか考えたことをグループイングし、何から調べたらよいか考えさせる。☑ B③学習問題の解決のために何を調べるとよいか調べる方法を考えさせる。☐	C①学習問題を確認する。☑ C②調べることを図や表に表し、単元全体を見通すことができるようにする。☑ C③学習問題と学習計画を教室内に掲示し、常に振り返らせる。☑ C④調べる内容（視点）を確認する。☐ C⑤調べる内容について、予想をさせる。☐ C⑥資料（写真、教科書等の文章等）を一つずつ確認し、どのようなことが分かる資料なのか考えさせる。☑ C⑦教師が指示した資料で調べさせる。☑ C⑧立場ごとに、資料を分けて提示する。☐ C⑨様々な資料を見せ、読み取りの視点を増やす。☐ C⑩学習問題や学習課題（本時のめあて）の解決に必要な情報であるのか考えさせる。☐ C⑪調べた内容をペアやグループで伝え合わせ、確認させる。☐ C⑫調べた内容について、問い返して、事実を相互に関連付けて考えさせる。☑ C⑬学習問題について、学習課題（本時のめあて）とのつながりを考えて記述させる。☐	D①事実を調べた後に、意味を問う疑問を段階的に挙げる。☐ D②調べた事実と考えを明確に分けさせる。☐ D③根拠となる資料を確認する。☐ D④話し合いの目的・ゴールを示す。☐ D⑤考えをペアやグループで伝え合わせる。☐ D⑥視点を基に、考えをもたせる。☐ D⑦視点同士を比較させ、考えをもたせる。☐ D⑧まとめ方を例示する。☐ D⑨キーワードを挙げる。☐ D⑩まとめ方に関する判定基準を示す。☐ D⑪掲示物を活用し、これまでの学習を振り返らせる。☐	E①単元全体のまとめ方を例示する。☐ E②キーワードを挙げる。☐ E③単元全体のまとめ方に関する判定基準を示す。☐ E④ノートやワークシート、掲示物などを活用し、これまでの学習を振り返らせる。☐	F①新たな学習問題を提示する。☐ F②社会的問題を含んだ資料を提示し、学習問題を設定する。☐ F③ゲストティーチャーに新たな学習問題につながる情報を話してもらふ。☐ F④学んだことと自分たちの生活（自分にできること）とをつなげて考えさせる。☐

☑ …現在取り入れていると判断した手立て

☐ …今月実践の単元で取り入れることを決定した手立て

単元「ごみのしよりとその利用」

目指す姿（主体的に学習に取り組む態度）

今調べたり考えたりしていることが、学習問題の解決のためにどのようにつながっているのか理解している。

取り入れた手立て（手引きの記号、番号）

学習問題について、学習課題（本時のめあて）とのつながりを意識して記述させる。（C⑬）



児童のワークシートの記述を基に、以下のA、B、Cの判定基準で評価を行った。

- A 学習した内容が学習問題を解決させるためにどのようにつながっているのかを意識し、今後何を調べるとよいかを適切に記述している。【1名】
- B 学習した内容が学習問題を解決させるためにどのようにつながっているのかを意識し、今後何を調べるとよいかを記述している。【8名】
- C Bに達していない。【15名】

【抽出児の記述】

学習問題を解決させるために、今日の学習で分かったことを書きましよう。		
日付	めあて	ふりかえり
9/4	自分たちの出しているゴミについて問題意識を	ゴミのことについて、学習問題は思いついてきたが、まだ
9/5	ごみしよりの学習をた	ゴミのしよりの方法がなかったことがわかった。また、
9/6	うれしの今について	2枚円のお金がかかっていることと、ゴミのしよりの方法が
9/7	ゴミ出しのルールについて	ゴミの出し方と、しよりの方法がわかった。また、しよりの方法がわかった。
9/10	リサイクルのゴミは、どうやって捨てるのか	ゴミマークが、ゴミのしよりの方法がわかった。また、しよりの方法がわかった。

本時の振り返りのみ

本時の振り返りに加え、次時調べること

【考察】

振り返りにおいて、「今後調べる内容を記述する」ことを十分に意識させることができなかった。L児のように、本時の振り返りを記述はしているのだが、学習問題とのつながりを意識して今後調べることを十分に記述できていない児童が多かった。振り返りを書くワークシートに「今後調べること」という欄を設けることや、振り返りを促す際に「分かっていないことは何ですか」と具体的に発問することで、児童は学習問題を意識しながら、追究活動を行っていくと考える。今後も、C⑬の手立てを継続して取り入れていくが、ワークシートの工夫を図ったり、発問を工夫したりしていきたい。

目指す姿（知識）

個別の具体的な知識に関する内容を関連付けて（つなげて）、記述することができる。

取り入れた手立て（手引きの記号、番号）

調べた内容をペアやグループで伝え合わせ、確認する。（C⑪）

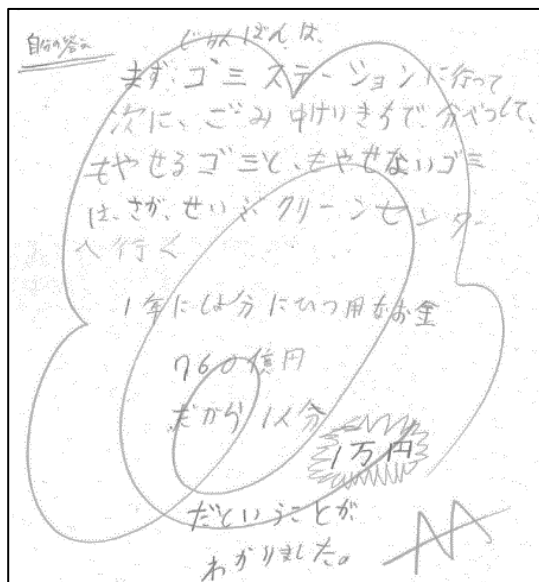
児童のワークシートの記述を基に、以下の B、C の判定基準で評価を行った。

(※指導に生かすための形成的な評価をしている。また児童のつぶやきや発言などから、「十分満足できる」状況 (A) と判断できた児童に関しては、記録に残し、単元における総括の評価の参考とする。)

B 分別したごみの処理や再利用について、「仕組み」「人々の協力」の視点を関連付けて、記述している。【6 名】

C B に達していない。【15 名】

【抽出児の記述】



【考察】

L児のように、ごみ処理の「仕組み」については記述しているが「人々の協力」という視点を関連付けて記述していない児童が多数を占めていた。「人々の協力」という視点を意識させるために、まとめをさせる際には、(手引きには指示がされていないが) D⑩の手立て「まとめ方に関する判定基準を示す」、D⑪の手立て「掲示物を活用し、これまでの学習を振り返らせる」が必要であった。また、様々な人々がごみの処理に関わっている事実を確認し、実感をもたせる必要もあった。

目指す姿 (思考・判断・表現)

学習問題を解決させるために、何をどのような方法で調べるとよいか、具体的に考えることができる。

取り入れた手立て (手引きの記号、番号)

学習問題の解決のために何を調べるとよいか調べる方法を考えさせる。(B③)

児童のワークシートの記述を基に、以下の A、B、C の判定基準で評価を行った。

A 学習問題を解決させるために、何をどのような方法で調べるとよいか適切に記述している。【14 名】

B 学習問題を解決させるために、何をどのような方法で調べるとよいか記述している。【2 名】

C B に達していない。【8 名】

【抽出児の記述】

⇔ …調べる内容と方法が適切に
関連付いているもの

調べる内容・内容	方法
ゴミがどこへ 行くのか うめる場所	さくゴミはリ場 の人に
うれしのしの 1人のゴミの量 ①ゴミはって	ゴミの量はつて 本やきくはリ場 ゆくはの人に
どんた人があて いほのか んきもち	クリーンセンタ きく
分べつのルール リサイクルの方法 BR	ゴミたのはこ かきくはリきの人 いおり

【考察】

全体の約7割の児童が、L児のように学習問題解決のための方法を記述することができていた。L児の記述を見ると、調べる内容と調べる方法が適切に結び付いていることが分かる。何をどのような方法で調べるとよいのか、具体的に考えることができていたことが分かる。しかし、何も記述できていない児童が8名いるので、具体的な調べる方法の例を示しながら、考えさせていくことも必要である。

【実践 3】10 月実践

学習過程	課題把握		課題追究		課題解決	新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り
知識	(1) 個別の具体的な知識に関する内容を記述することができる。⇒C①②③④⑤ (2) 個別の具体的な知識に関する内容を関連付けて（つなげて）、記述することができる。⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿㏀㏁㏂㏃㏄㏅㏆㏇㏈㏉㏊㏋㏌㏍㏎㏏㏐㏑㏒㏓㏔㏕㏖㏗㏘㏙㏚㏛㏜㏝㏞㏟㏠㏡㏢㏣㏤㏥㏦㏧㏨㏩㏪㏫㏬㏭㏮㏯㏰㏱㏲㏳㏴㏵㏶㏷㏸㏹㏺㏻㏼㏽㏾㏿㐀㐁㐂㐃㐄㐅㐆㐇㐈㐉㐊㐋㐌㐍㐎㐏㐐㐑㐒㐓㐔㐕㐖㐗㐘㐙㐚㐛㐜㐝㐞㐟㐠㐡㐢㐣㐤㐥㐦㐧㐨㐩㐪㐫㐬㐭㐮㐯㐰㐱㐲㐳㐴㐵㐶㐷㐸㐹㐺㐻㐼㐽㐾㐿㑀㑁㑂㑃㑄㑅㑆㑇㑈㑉㑊㑋㑌㑍㑎㑏㑐㑑㑒㑓㑔㑕㑖㑗㑘㑙㑚㑛㑜㑝㑞㑟㑠㑡㑢㑣㑤㑥㑦㑧㑨㑩㑪㑫㑬㑭㑮㑯㑰㑱㑲㑳㑴㑵㑶㑷㑸㑹㑺㑻㑼㑽㑾㑿㒀㒁㒂㒃㒄㒅㒆㒇㒈㒉㒊㒋㒌㒍㒎㒏㒐㒑㒒㒓㒔㒕㒖㒗㒘㒙㒚㒛㒜㒝㒞㒟㒠㒡㒢㒣㒤㒥㒦㒧㒨㒩㒪㒫㒬㒭㒮㒯㒰㒱㒲㒳㒴㒵㒶㒷㒸㒹㒺㒻㒼㒽㒾㒿㓀㓁㓂㓃㓄㓅㓆㓇㓈㓉㓊㓋㓌㓍㓎㓏㓐㓑㓒㓓㓔㓕㓖㓗㓘㓙㓚㓛㓜㓝㓞㓟㓠㓡㓢㓣㓤㓥㓦㓧㓨㓩㓪㓫㓬㓭㓮㓯㓰㓱㓲㓳㓴㓵㓶㓷㓸㓹㓺㓻㓼㓽㓾㓿㔀㔁㔂㔃㔄㔅㔆㔇㔈㔉㔊㔋㔌㔍㔎㔏㔐㔑㔒㔓㔔㔕㔖㔗㔘㔙㔚㔛㔜㔝㔞㔟㔠㔡㔢㔣㔤㔥㔦㔧㔨㔩㔪㔫㔬㔭㔮㔯㔰㔱㔲㔳㔴㔵㔶㔷㔸㔹㔺㔻㔼㔽㔾㔿㕀㕁㕂㕃㕄㕅㕆㕇㕈㕉㕊㕋㕌㕍㕎㕏㕐㕑㕒㕓㕔㕕㕖㕗㕘㕙㕚㕛㕜㕝㕞㕟㕠㕡㕢㕣㕤㕥㕦㕧㕨㕩㕪㕫㕬㕭㕮㕯㕰㕱㕲㕳㕴㕵㕶㕷㕸㕹㕺㕻㕼㕽㕾㕿㖀㖁㖂㖃㖄㖅㖆㖇㖈㖉㖊㖋㖌㖍㖎㖏㖐㖑㖒㖓㖔㖕㖖㖗㖘㖙㖚㖛㖜㖝㖞㖟㖠㖡㖢㖣㖤㖥㖦㖧㖨㖩㖪㖫㖬㖭㖮㖯㖰㖱㖲㖳㖴㖵㖶㖷㖸㖹㖺㖻㖼㖽㖾㖿㗀㗁㗂㗃㗄㗅㗆㗇㗈㗉㗊㗋㗌㗍㗎㗏㗐㗑㗒㗓㗔㗕㗖㗗㗘㗙㗚㗛㗜㗝㗞㗟㗠㗡㗢㗣㗤㗥㗦㗧㗨㗩㗪㗫㗬㗭㗮㗯㗰㗱㗲㗳㗴㗵㗶㗷㗸㗹㗺㗻㗼㗽㗾㗿㘀㘁㘂㘃㘄㘅㘆㘇㘈㘉㘊㘋㘌㘍㘎㘏㘐㘑㘒㘓㘔㘕㘖㘗㘘㘙㘚㘛㘜㘝㘞㘟㘠㘡㘢㘣㘤㘥㘦㘧㘨㘩㘪㘫㘬㘭㘮㘯㘰㘱㘲㘳㘴㘵㘶㘷㘸㘹㘺㘻㘼㘽㘾㘿㙀㙁㙂㙃㙄㙅㙆㙇㙈㙉㙊㙋㙌㙍㙎㙏㙐㙑㙒㙓㙔㙕㙖㙗㙘㙙㙚㙛㙜㙝㙞㙟㙠㙡㙢㙣㙤㙥㙦㙧㙨㙩㙪㙫㙬㙭㙮㙯㙰㙱㙲㙳㙴㙵㙶㙷㙸㙹㙺㙻㙼㙽㙾㙿㚀㚁㚂㚃㚄㚅㚆㚇㚈㚉㚊㚋㚌㚍㚎㚏㚐㚑㚒㚓㚔㚕㚖㚗㚘㚙㚚㚛㚜㚝㚞㚟㚠㚡㚢㚣㚤㚥㚦㚧㚨㚩㚪㚫㚬㚭㚮㚯㚰㚱㚲㚳㚴㚵㚶㚷㚸㚹㚺㚻㚼㚽㚾㚿㜀㜁㜂㜃㜄㜅㜆㜇㜈㜉㜊㜋㜌㜍㜎㜏㜐㜑㜒㜓㜔㜕㜖㜗㜘㜙㜚㜛㜜㜝㜞㜟㜠㜡㜢㜣㜤㜥㜦㜧㜨㜩㜪㜫㜬㜭㜮㜯㜰㜱㜲㜳㜴㜵㜶㜷㜸㜹㜺㜻㜼㜽㜾㜿㝀㝁㝂㝃㝄㝅㝆㝇㝈㝉㝊㝋㝌㝍㝎㝏㝐㝑㝒㝓㝔㝕㝖㝗㝘㝙㝚㝛㝜㝝㝞㝟㝠㝡㝢㝣㝤㝥㝦㝧㝨㝩㝪㝫㝬㝭㝮㝯㝰㝱㝲㝳㝴㝵㝶㝷㝸㝹㝺㝻㝼㝽㝾㝿㞀㞁㞂㞃㞄㞅㞆㞇㞈㞉㞊㞋㞌㞍㞎㞏㞐㞑㞒㞓㞔㞕㞖㞗㞘㞙㞚㞛㞜㞝㞞㞟㞠㞡㞢㞣㞤㞥㞦㞧㞨㞩㞪㞫㞬㞭㞮㞯㞰㞱㞲㞳㞴㞵㞶㞷㞸㞹㞺㞻㞼㞽㞾㞿㟀㟁㟂㟃㟄㟅㟆㟇㟈㟉㟊㟋㟌㟍㟎㟏㟐㟑㟒㟓㟔㟕㟖㟗㟘㟙㟚㟛㟜㟝㟞㟟㟠㟡㟢㟣㟤㟥㟦㟧㟨㟩㟪㟫㟬㟭㟮㟯㟰㟱㟲㟳㟴㟵㟶㟷㟸㟹㟺㟻㟼㟽㟾㟿㠀㠁㠂㠃㠄㠅㠆㠇㠈㠉㠊㠋㠌㠍㠎㠏㠐㠑㠒㠓㠔㠕㠖㠗㠘㠙㠚㠛㠜㠝㠞㠟㠠㠡㠢㠣㠤㠥㠦㠧㠨㠩㠪㠫㠬㠭㠮㠯㠰㠱㠲㠳㠴㠵㠶㠷㠸㠹㠺㠻㠼㠽㠾㠿㡀㡁㡂㡃㡄㡅㡆㡇㡈㡉㡊㡋㡌㡍㡎㡏㡐㡑㡒㡓㡔㡕㡖㡗㡘㡙㡚㡛㡜㡝㡞㡟㡠㡡㡢㡣㡤㡥㡦㡧㡨㡩㡪㡫㡬㡭㡮㡯㡰㡱㡲㡳㡴㡵㡶㡷㡸㡹㡺㡻㡼㡽㡾㡿㢀㢁㢂㢃㢄㢅㢆㢇㢈㢉㢊㢋㢌㢍㢎㢏㢐㢑㢒㢓㢔㢕㢖㢗㢘㢙㢚㢛㢜㢝㢞㢟㢠㢡㢢㢣㢤㢥㢦㢧㢨㢩㢪㢫㢬㢭㢮㢯㢰㢱㢲㢳㢴㢵㢶㢷㢸㢹㢺㢻㢼㢽㢾㢿㣀㣁㣂㣃㣄㣅㣆㣇㣈㣉㣊㣋㣌㣍㣎㣏㣐㣑㣒㣓㣔㣕㣖㣗㣘㣙㣚㣛㣜㣝㣞㣟㣠㣡㣢㣣㣤㣥㣦㣧㣨㣩㣪㣫㣬㣭㣮㣯㣰㣱㣲㣳㣴㣵㣶㣷㣸㣹㣺㣻㣼㣽㣾㣿㤀㤁㤂㤃㤄㤅㤆㤇㤈㤉㤊㤋㤌㤍㤎㤏㤐㤑㤒㤓㤔㤕㤖㤗㤘㤙㤚㤛㤜㤝㤞㤟㤠㤡㤢㤣㤤㤥㤦㤧㤨㤩㤪㤫㤬㤭㤮㤯㤰㤱㤲㤳㤴㤵㤶㤷㤸㤹㤺㤻㤼㤽㤾㤿㥀㥁㥂㥃㥄㥅㥆㥇㥈㥉㥊㥋㥌㥍㥎㥏㥐㥑㥒㥓㥔㥕㥖㥗㥘㥙㥚㥛㥜㥝㥞㥟㥠㥡㥢㥣㥤㥥㥦㥧㥨㥩㥪㥫㥬㥭㥮㥯㥰㥱㥲㥳㥴㥵㥶㥷㥸㥹㥺㥻㥼㥽㥾㥿㦀㦁㦂㦃㦄㦅㦆㦇㦈㦉㦊㦋㦌㦍㦎㦏㦐㦑㦒㦓㦔㦕㦖㦗㦘㦙㦚㦛㦜㦝㦞㦟㦠㦡㦢㦣㦤㦥㦦㦧㦨㦩㦪㦫㦬㦭㦮㦯㦰㦱㦲㦳㦴㦵㦶㦷㦸㦹㦺㦻㦼㦽㦾㦿㧀㧁㧂㧃㧄㧅㧆㧇㧈㧉㧊㧋㧌㧍㧎㧏㧐㧑㧒㧓㧔㧕㧖㧗㧘㧙㧚㧛㧜㧝㧞㧟㧠㧡㧢㧣㧤㧥㧦㧧㧨㧩㧪㧫㧬㧭㧮㧯㧰㧱㧲㧳㧴㧵㧶㧷㧸㧹㧺㧻㧼㧽㧾㧿㨀㨁㨂㨃㨄㨅㨆㨇㨈㨉㨊㨋㨌㨍㨎㨏㨐㨑㨒㨓㨔㨕㨖㨗㨘㨙㨚㨛㨜㨝㨞㨟㨠㨡㨢㨣㨤㨥㨦㨧㨨㨩㨪㨫㨬㨭㨮㨯㨰㨱㨲㨳㨴㨵㨶㨷㨸㨹㨺㨻㨼㨽㨾㨿㩀㩁㩂㩃㩄㩅㩆㩇㩈㩉㩊㩋㩌㩍㩎㩏㩐㩑㩒㩓㩔㩕㩖㩗㩘㩙㩚㩛㩜㩝㩞㩟㩠㩡㩢㩣㩤㩥㩦㩧㩨㩩㩪㩫㩬㩭㩮㩯㩰㩱㩲㩳㩴㩵㩶㩷㩸㩹㩺㩻㩼㩽㩾㩿㪀㪁㪂㪃㪄㪅㪆㪇㪈㪉㪊㪋㪌㪍㪎㪏㪐㪑㪒㪓㪔㪕㪖㪗㪘㪙㪚㪛㪜㪝㪞㪟㪠㪡㪢㪣㪤㪥㪦㪧㪨㪩㪪㪫㪬㪭㪮㪯㪰㪱㪲㪳㪴㪵㪶㪷㪸㪹㪺㪻㪼㪽㪾㪿㫀㫁㫂㫃㫄㫅㫆㫇㫈㫉㫊㫋㫌㫍㫎㫏㫐㫑㫒㫓㫔㫕㫖㫗㫘㫙㫚㫛㫜㫝㫞㫟㫠㫡㫢㫣㫤㫥㫦㫧㫨㫩㫪㫫㫬㫭㫮㫯㫰㫱㫲㫳㫴㫵㫶㫷㫸㫹㫺㫻㫼㫽㫾㫿㬀㬁㬂㬃㬄㬅㬆㬇㬈㬉㬊㬋㬌㬍㬎㬏㬐㬑㬒㬓㬔㬕㬖㬗㬘㬙㬚㬛㬜㬝㬞㬟㬠㬡㬢㬣㬤㬥㬦㬧㬨㬩㬪㬫㬬㬭㬮㬯㬰㬱㬲㬳㬴㬵㬶㬷㬸㬹㬺㬻㬼㬽㬾㬿㭀㭁㭂㭃㭄㭅㭆㭇㭈㭉㭊㭋㭌㭍㭎㭏㭐㭑㭒㭓㭔㭕㭖㭗㭘㭙㭚㭛㭜㭝㭞㭟㭠㭡㭢㭣㭤㭥㭦㭧㭨㭩㭪㭫㭬㭭㭮㭯㭰㭱㭲㭳㭴㭵㭶㭷㭸㭹㭺㭻㭼㭽㭾㭿㮀㮁㮂㮃㮄㮅㮆㮇㮈㮉㮊㮋㮌㮍㮎㮏㮐㮑㮒㮓㮔㮕㮖㮗㮘㮙㮚㮛㮜㮝㮞㮟㮠㮡㮢㮣㮤㮥㮦㮧㮨㮩㮪㮫㮬㮭㮮㮯㮰㮱㮲㮳㮴㮵㮶㮷㮸㮹㮺㮻㮼㮽㮾㮿㯀㯁㯂㯃㯄㯅㯆㯇㯈㯉㯊㯋㯌㯍㯎㯏㯐㯑㯒㯓㯔㯕㯖㯗㯘㯙㯚㯛㯜㯝㯞㯟㯠㯡㯢㯣㯤㯥㯦㯧㯨㯩㯪㯫㯬㯭㯮㯯㯰㯱㯲㯳㯴㯵㯶㯷㯸㯹㯺㯻㯼㯽㯾㯿㰀㰁㰂㰃㰄㰅㰆㰇㰈㰉㰊㰋㰌㰍㰎㰏㰐㰑㰒㰓㰔㰕㰖㰗㰘㰙㰚㰛㰜㰝㰞㰟㰠㰡㰢㰣㰤㰥㰦㰧㰨㰩㰪㰫㰬㰭㰮㰯㰰㰱㰲㰳㰴㰵㰶㰷㰸㰹㰺㰻㰼㰽㰾㰿㱀㱁㱂㱃㱄㱅㱆㱇㱈㱉㱊㱋㱌㱍㱎㱏㱐㱑㱒㱓㱔㱕㱖㱗㱘㱙㱚㱛㱜㱝㱞㱟㱠㱡㱢㱣㱤㱥㱦㱧㱨㱩㱪㱫㱬㱭㱮㱯㱰㱱㱲㱳㱴㱵㱶㱷㱸㱹㱺㱻㱼㱽㱾㱿㲀㲁㲂㲃㲄㲅㲆㲇㲈㲉㲊㲋㲌㲍㲎㲏㲐㲑㲒㲓㲔㲕㲖㲗㲘㲙㲚㲛㲜㲝㲞㲟㲠㲡㲢㲣㲤㲥㲦㲧㲨㲩㲪㲫㲬㲭㲮㲯㲰㲱㲲㲳㲴㲵㲶㲷㲸㲹㲺㲻㲼㲽㲾㲿㳀㳁㳂㳃㳄㳅㳆㳇㳈㳉㳊㳋㳌㳍㳎㳏㳐㳑㳒㳓㳔㳕㳖㳗㳘㳙㳚㳛㳜㳝㳞㳟㳠㳡㳢㳣㳤㳥㳦㳧㳨㳩㳪㳫㳬㳭㳮㳯㳰㳱㳲㳳㳴㳵㳶㳷㳸㳹㳺㳻㳼㳽㳾㳿㴀㴁㴂㴃㴄㴅㴆㴇㴈㴉㴊㴋㴌㴍㴎㴏㴐㴑㴒㴓㴔㴕㴖㴗㴘㴙㴚㴛㴜㴝㴞㴟㴠㴡㴢㴣㴤㴥㴦㴧㴨㴩㴪㴫㴬㴭㴮㴯㴰㴱㴲㴳㴴㴵㴶㴷㴸㴹㴺㴻㴼㴽㴾㴿㵀㵁㵂㵃㵄㵅㵆㵇㵈㵉㵊㵋㵌㵍㵎㵏㵐㵑㵒㵓㵔㵕㵖㵗㵘㵙㵚㵛㵜㵝㵞㵟㵠㵡㵢㵣㵤㵥㵦㵧㵨㵩㵪㵫㵬㵭㵮㵯㵰㵱㵲㵳㵴㵵㵶㵷㵸㵹㵺㵻㵼㵽㵾㵿㶀㶁㶂㶃㶄㶅㶆㶇㶈㶉㶊㶋㶌㶍㶎㶏㶐㶑㶒㶓㶔㶕㶖㶗㶘㶙㶚㶛㶜㶝㶞㶟㶠㶡㶢㶣㶤㶥㶦㶧㶨㶩㶪㶫㶬㶭㶮㶯㶰㶱㶲㶳㶴㶵㶶㶷㶸㶹㶺㶻㶼㶽㶾㶿㷀㷁㷂㷃㷄㷅㷆㷇㷈㷉㷊㷋㷌㷍㷎㷏㷐㷑㷒㷓㷔㷕㷖㷗㷘㷙㷚㷛㷜㷝㷞㷟㷠㷡㷢㷣㷤㷥㷦㷧㷨㷩㷪㷫㷬㷭㷮㷯㷰㷱㷲㷳㷴㷵㷶㷷㷸㷹㷺㷻㷼㷽㷾㷿㸀㸁㸂㸃㸄㸅㸆㸇㸈㸉㸊㸋㸌㸍㸎㸏㸐㸑㸒㸓㸔㸕㸖㸗㸘㸙㸚㸛㸜㸝㸞㸟㸠㸡㸢㸣㸤㸥㸦㸧㸨㸩㸪㸫㸬㸭㸮㸯㸰㸱㸲㸳㸴㸵㸶㸷㸸㸹㸺㸻㸼㸽㸾㸿㹀㹁㹂㹃㹄㹅㹆㹇㹈㹉㹊㹋㹌㹍㹎㹏㹐㹑㹒㹓㹔㹕㹖㹗㹘㹙㹚㹛㹜㹝㹞㹟㹠㹡㹢㹣㹤㹥㹦㹧㹨㹩㹪㹫㹬㹭㹮㹯㹰㹱㹲㹳㹴㹵㹶㹷㹸㹹㹺㹻㹼㹽㹾㹿㺀㺁㺂㺃㺄㺅㺆㺇㺈㺉㺊㺋㺌㺍㺎㺏㺐㺑㺒㺓㺔㺕㺖㺗㺘㺙㺚㺛㺜㺝㺞㺟㺠㺡㺢㺣㺤㺥㺦㺧㺨㺩㺪㺫㺬㺭㺮㺯㺰㺱㺲㺳㺴㺵㺶㺷㺸㺹㺺㺻㺼㺽㺾㺿㻀㻁㻂㻃㻄㻅㻆㻇㻈㻉㻊㻋㻌㻍㻎㻏㻐㻑㻒㻓㻔㻕㻖㻗㻘㻙㻚㻛㻜㻝㻞㻟㻠㻡㻢㻣㻤㻥㻦㻧㻨㻩㻪㻫㻬㻭㻮㻯㻰㻱㻲㻳㻴㻵㻶㻷㻸㻹㻺㻻㻼㻽㻾㻿㼀㼁㼂㼃㼄㼅㼆㼇㼈㼉㼊㼋㼌㼍㼎㼏㼐㼑㼒㼓㼔㼕㼖㼗㼘㼙㼚㼛㼜㼝㼞㼟㼠㼡㼢㼣㼤㼥㼦㼧㼨㼩㼪㼫㼬㼭㼮㼯㼰㼱㼲㼳㼴㼵㼶㼷㼸㼹㼺㼻㼼㼽㼾㼿㽀㽁㽂㽃㽄㽅㽆㽇㽈㽉㽊㽋㽌㽍㽎㽏㽐㽑㽒㽓㽔㽕㽖㽗㽘㽙㽚㽛㽜㽝㽞㽟㽠㽡㽢㽣㽤㽥㽦㽧㽨㽩㽪㽫㽬㽭㽮㽯㽰㽱㽲㽳㽴㽵㽶㽷㽸㽹㽺㽻㽼㽽㽾㽿㿀㿁㿂㿃㿄㿅㿆㿇㿈㿉㿊㿋㿌㿍㿎㿏㿐㿑㿒㿓㿔㿕㿖㿗㿘㿙㿚㿛㿜㿝㿞㿟㿠㿡㿢㿣㿤㿥㿦㿧㿨㿩㿪㿫㿬㿭㿮㿯㿰㿱㿲㿳㿴㿵㿶㿷㿸㿹㿺㿻㿼㿽㿾㿿					
技能 (収集する読み取るまとめる)	(1) 学習問題や学習課題（本時のめあて）を解決するために必要な資料を集めることができる。⇒C①②③ (2) その資料がどのような資料に分かっている。⇒C⑥⑦⑧ (3) 事実を正確に読み取っている。⇒C④⑤⑥⑦⑧ (4) 学習問題や学習課題（本時のめあて）を解決するために有用な情報を選んで読み取っている。⇒B①⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ (5) 目的や自分の意図に基づいてまとめることができる。⇒C⑥⑦⑧⑨⑩					
思考・判断・表現	(1) 資料を基に気付きをもつことができる。⇒A①② (2) 資料を基に疑問をもつことができる。⇒A①②③ (3) 疑問に対して、予想をすることができ。⇒A⑤⑥ (4) 気付きや疑問から、キーワード（問い）をつくることできる。⇒A④⑤⑥⑦ (5) キーワード（問い）を関連付けて、大きな問いをつくることできる。⇒A④⑦⑧⑨	(1) 学習問題に対して、予想をすることができ。⇒B① (2) 自分が調べたいことを考えることできる。⇒B①② (3) 学習問題を解決するために、何をどのような方法で調べるとよいか、具体的に考えることできる。⇒B①②③	(1) 本時で分かったことを基に、学習問題の解決のために次から何を調べるとよいか考えることできる。⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪ (2) 調べた事実を基に、考えられることを導き出すことできる。⇒C⑩⇒D①②③ (3) 資料を使って意見を述べたり、記述したりすることできる。⇒D②③④⑤ (4) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考慮することできる。⇒D④⑤⑥⑦ (5) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考えた上で、一番重視したい立場を選択することできる。⇒D④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪	(1) 調べた事実を基に、考えられることを導き出すことできる。⇒C⑩⇒D①②③ (2) 資料を使って意見を述べたり、記述したりすることできる。⇒D②③④⑤ (3) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考慮することできる。⇒D④⑤⑥⑦ (4) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考えた上で、一番重視したい立場を選択することできる。⇒D④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪	(1) これまでに学習してきたことを基に、自分の考えをもつことできる。⇒E①②③④ (2) 友達のことを比較・関連付け、意見を述べたり、記述したりすることできる。⇒E①②③④	(1) 学習した内容から似た事象や当てはまりそうな事象がないか考えることできる。⇒F④ (2) 新たに調べたいことを考えることできる。⇒F①②③
主体的に学習に取り組む態度	(1) 本時のめあてを解決するために、何を調べるとよいか見通しをもっている。⇒B①②③⇒C①②③ (2) 今調べたり考えたりしていることが、学習問題の解決のためにどのようにつながっているのか理解している。⇒B①②③⇒C①②③④ (3) 社会的事象について、実感や切実感をもって調べたり考えたり、話し合ったりすることできる。⇒A①②③④⑤⑥⑦⑧⑨ (4) 調べたことや考えたことを基に、今後の生活に生かせることはないか考えることできる。⇒A①⇒F①②③④					

✓ …できていると判断した児童の姿

□ …今月実践の単元で目指す児童の姿

学習過程	課題把握		課題追究		課題解決	新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り
手立て	A①身近なことを題材に挙げる。✓ A②資料提示の工夫（資料の一部を隠すなど）を行う。□ A③題材に対して気付きや疑問をもたせる。✓ A④気付きや疑問を教師が意識的に仲間（キーワード）分けて板書する。□ A⑤気付きや疑問に対して、問い返しをしながら、児童に予想を出させる。□ A⑥自分の考えをもちやすい場面（予想など）で、自分と相手の意見が同じか違うか考えさせながら対話させる。✓ A⑦気付きや疑問を基に、調べていきたいことを考えさせる。✓ A⑧調べていきたいことを学習問題として書かせる。□ A⑨個別にもった学習問題を全体で交流し、学習問題を設定する。✓	B①学習問題の解決のために何を調べるとよいかを考えさせる。✓ B②調べるとよいか考えたことをグループで話し、何から調べたらよいか考えさせる。✓ B③学習問題の解決のために何を調べるとよいか調べる方法を考えさせる。□	C①学習問題を確認する。✓ C②調べることを図や表に表し、単元全体を見通すことができるようにする。✓ C③学習問題と学習計画を教室内に掲示し、常に振り返らせる。✓ C④調べる内容（視点）を確認する。□ C⑤調べる内容について、予想をさせる。□ C⑥資料（写真、教科書等の文章等）を一つずつ確認し、どのようなことが分かる資料なのか考えさせる。✓ C⑦教師が指示した資料で調べさせる。✓ C⑧立場ごとに、資料を分けて提示する。□ C⑨様々な資料を見せ、読み取りの視点を増やす。□ C⑩学習問題や学習課題（本時のめあて）の解決に必要な情報であるか考えさせる。□ C⑪調べた内容をペアやグループで伝え合わせ、確認させる。✓ C⑫調べた内容について、問い返して、事実を相互に関連付けて考えさせる。✓ C⑬学習問題について、学習課題（本時のめあて）のつながりを考えて記述させる。□	D①事実を調べた後に、意味を問う発問を段階的に行う。□ D②調べた事実と考えを明確に分けさせる。□ D③根拠となる資料を確認する。□ D④話し合いの目的・ゴールを示す。□ D⑤考えをペアやグループで伝え合わせる。□ D⑥視点を基に、考えをもたせる。□ D⑦視点同士を比較させ、考えをもたせる。□ D⑧まとめ方を例示する。□ D⑨キーワードを挙げる。□ D⑩まとめ方に関する判定基準を示す。□ D⑪掲示物を活用し、これまでの学習を振り返らせる。□	E①単元全体のまとめ方を例示する。□ E②キーワードを挙げる。□ E③単元全体のまとめ方に関する判定基準を示す。□ E④ノートやワークシート、掲示物などを活用し、これまでの学習を振り返らせる。□	F①新たな学習問題を提示する。□ F②社会的問題を含んだ資料を提示し、学習問題を設定する。□ F③ゲストティーチャーに新たな学習問題につながる情報を話してもらう。□ F④学んだことと自分たちの生活（自分にできること）とをつなげて考えさせる。□

✓ …現在取り入れていると判断した手立て

○ …今月実践の単元で取り入れることを決定した手立て

単元「特色のある地域と私たちの暮らし」

目指す姿（主体的に学習に取り組む態度）
今調べたり考えたりしていることが、学習問題の解決のためにどのようにつながっているか理解している。
取り入れた手立て（手引きの記号、番号）
学習問題について、学習課題（本時のめあて）とのつながりを意識して記述させる。（C⑬）

児童のワークシートの記述を基に、以下の A, B, C の判定基準で評価を行った。
A 学習した内容が学習問題を解決させるためにどのようにつながっているのかを意識し、今後何を調べるとよいかを適切に記述している。【19 名】
B 学習した内容が学習問題を解決させるためにどのようにつながっているのかを意識し、今後何を調べるとよいかを記述している。【3 名】
C B に達していない。【2 名】
【抽出児の記述】
有田焼を作った人が外国人と知り、びっくりしました。今度は、つくり方について知りたいです。
【考察】
振り返りカードに「学習問題の解決につながること」と「これから知りたいこと」という欄を設けることで、L 児のように、学習した内容と学習問題を関係付けながら振り返りを行い、次時以降に何を調べるとよいか適切に記述している児童が増えた。継続して取り入れてきた C⑬の手だてが効果的に機能していると考ええる。

目指す姿（知識）
個別の具体的な知識に関する内容を関連付けて（つなげて）、記述することができる。
取り入れた手立て（手引きの記号、番号）
まとめ方に関する判定基準を示す。（D⑩）
掲示物を活用し、これまでの学習を振り返らせる。（D⑪）

児童のワークシートの記述を基に、以下の A, B, C の判定基準で評価を行った。※欠席：1 名
A 有田焼について、「れきし」「つくり方」の視点を関連付けて、記述している。【0 名】
B 有田焼について、「れきし」「つくり方」の視点をもって記述している。【22 名】
C B に達していない。【1 名】
【抽出児の記述】欠席のため、データなし
【考察】
まとめる活動の前に、評価の判定基準として「れきし」「つくり方」の 2 つの視点で考え記述することを伝えた。さらに、単元の学習を通して学習問題と学習計画を常に教室掲示し、キーワードとして意識させていたこともあり、ほぼ全ての児童が 2 つの視点で記述することができていた。しかし、「れきし」「つくり方」の 2 つの視点を関連付けて記述した児童はいなかった。

目指す姿（思考・判断・表現）
キーワード（問い）を関連付けて、大きな問いをつくらることができる。
取り入れた手立て（手引きの記号、番号）
気付きや疑問を教師が意識的に仲間（キーワード）分けして板書する。（A④） 調べていきたいことを学習問題として書かせる。（A⑧）

児童のワークシートの記述を基に、以下の A, B, C の判定基準で評価を行った。
A 資料から気付きや疑問をもち、「つくり方」と「れきし」の両方を追究できるような学習問題を記述している。【7名】
B 資料から気付きや疑問をもち、「つくり方」と「れきし」のどちらか1つを追究できるような学習問題を記述している。【14名】
C Bに達していない。【3名】
【抽出児の記述】
有田焼はなぜ有名なのか調べよう。
【考察】
24名中21名が、資料から気付きや疑問をもち、「つくり方」と「れきし」のどちらか、または両方を追究できるような学習問題を記述することができた。しかし、両方から追究できるように設定した児童は7名であったことから十分に達成できていないと考える。A④の手立てを取り入れ、児童の気付きや疑問を「つくり方」と「れきし」というキーワードで仲間分けをして板書したのだが、児童に追究の視点として意識させることができなかった。次単元では、キーワードに着目させ、自分たちの疑問を解決するための大きな問いが学習問題であることを確認する。

目指す姿（思考・判断・表現）
学習問題を解決させるために、何をどのような方法で調べるとよいか、具体的に考えることができる。
取り入れた手立て（手引きの記号、番号）
学習問題の解決のために何を調べるとよいか調べる方法を考えさせる。（B③）

児童のワークシートの記述を基に、以下の A, B, C の判定基準で評価を行った。
A 学習問題を解決させるために、何をどのような方法で調べるとよいか適切に記述することができる。【18名】
B 学習問題を解決させるために、何をどのような方法で調べるとよいか記述することができる。【4名】
C Bに達していない。【2名】

【抽出児の記述】

…調べる内容と方法が適切に
関連付いているもの

学習問題 有田 焼は、どうやって作られて
いつごろからあるのか

知りたこと	調べる方法
・作り方 ・材料 ・人々 ・くふうは	作っている人に インタビュー 本で調べる
れきしについて いつから なぜ有田 有名になったのか はじまったのか	インターネット インタビュー
・なぜよく人	たくさんの人にきく
なぜ人気 高いのに	お客さんにインタビュー

【考察】

前単元「ごみの処理とその利用」の学習計画表を提示し、単元全体の学習を振り返らせた。その後、本単元の学習について、学習問題を解決するための調べる方法を考えさせた。L児のように、調べる内容と方法を適切に記述した児童が24名中18名いた。単元の学習に対して見通しをもつことができたと考える。単元の学習課題把握の場面におけるB③の手立ては今後も継続して取り入れていきたい。

【実践 4】11 月実践

学習過程	課題把握		課題追究		課題解決	新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り
知識			(1) 個別の具体的な知識に関する内容を記述することができる。⇒C①②③④⑤ (2) 個別の具体的な知識に関する内容を関連付けて（つなげて）、記述することができる。□⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⇒D①②③④ (3) 個別の具体的な知識に関する内容を総合して（まとめて）、記述することができる。□⇒C①②③④⑤⇒D①②③④⑤⇒E①②③④			
技能 (収集する 読み取る まとめる)			(1) 学習問題や学習課題（本時のめあて）を解決するために必要な資料を集めることができる。⇒C①②③ (2) その資料がどのような資料に分かれている。□⇒C⑥⑦⑧ (3) 事実を正確に読み取っている。□⇒C④⑤⑥⑦⑧ (4) 学習問題や学習課題（本時のめあて）を解決するために有用な情報を選んで読み取っている。□⇒B①⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ (5) 目的や自分の意図に基づいてまとめることができる。□⇒C⑥⑦⑧⑨⑩			
思考・ 判断・ 表現	(1) 資料を基に気付きをもつことができる。✓ ⇒A①② (2) 資料を基に疑問をもつことができる。✓ ⇒A①②③ (3) 疑問に対して、予想をすることがある。✓ ⇒A⑤⑥ (4) 気付きや疑問から、キーワード（問い）をつくることができる。✓ ⇒A④⑤⑥⑦ (5) キーワード（問い）を関連付けて、大きな問いをつくることある。□ ⇒A④⑦⑧⑨	(1) 学習問題に対して、予想をすることがある。✓ ⇒B① (2) 自分が調べたいことを考えることができる。✓ ⇒B①② (3) 学習問題を解決するために、何をどのような方法で調べるとよいのか、具体的に考えることができる。✓ ⇒B①②③	(1) 本時で分かったことを基に、学習問題の解決のために次から何を調べるとよいかを考えることができる。✓ ⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	(1) 調べた事実を基に、考えられることを導き出すことができる。□ ⇒C⑩⇒D①②③ (2) 資料を使って意見を述べたり、記述したりすることができる。□ ⇒D②③④⑤ (3) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考えることができる。□ ⇒D④⑤⑥⑦ (4) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考えた上で、一番重視したい立場を選択することができる。□ ⇒D④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	(1) これまでに学習してきたことを基に、自分の考えをもつことができる。□ ⇒E①②③④ (2) 友達の考えを比較・関連付け、意見を述べたり、記述したりすることができる。□ ⇒E①②③④	(1) 学習した内容から似た事象や当てはまりそうな事象がないかを考えることができる。□ ⇒F④ (2) 新たに調べたいことを考えることができる。□ ⇒F①②③
主体的に学習に取り組む態度	(1) 本時のめあてを解決するために、何を調べるとよいか見通しをもっている。□⇒B①②③⇒C①②③ (2) 今調べたり考えたりしていることが、学習問題の解決のためにどのようにつながっているのか理解している。□⇒B①②③⇒C①②③④ (3) 社会的事象について、実感や切実感をもって調べたり考えたり、話し合ったりすることができる。□⇒A①②③④⑤⑥⑦⑧⑨ (4) 調べたことや考えたことを基に、今後の生活に生かせることはないか考えることができる。□A①⇒F①②③④					

✓ …できていると判断した児童の姿

□ …今月実践の単元で目指す児童の姿

学習過程	課題把握		課題追究		課題解決	新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り
手立て	A①身近なことを題材に挙げる。✓ A②資料提示の工夫（資料の一部を隠すなど）を行う。✓ A③題材に対して気付きや疑問をもたせる。✓ A④気付きや疑問を教師が意図的に仲間（キーワード）分けて板書する。□ A⑤気付きや疑問に対して、問い返しをしながら、児童に予想を出させる。✓ A⑥自分の考えをもちやすい場面（予想など）で、自分と相手の意見が同じか違うか考えさせながら対話させる。✓ A⑦気付きや疑問を基に、調べていきたいことを考えさせる。✓ A⑧調べていきたいことを学習問題として書かせる。✓ A⑨個別にもった学習問題を全体で交流し、学習問題を設定する。✓	B①学習問題の解決のために何を調べるとよいのかを考えさせる。✓ B②調べるとよいと考えたことをグループビンゴし、何から調べたらよいか考えさせる。✓ B③学習問題の解決のために何を調べるとよいのか調べる方法を考えさせる。✓	C①学習問題を確認する。✓ C②調べたことを図や表に表し、単元全体を見通すことができるようにする。✓ C③学習問題と学習計画を教室内に掲示し、常に振り返らせる。✓ C④調べる内容（視点）を確認する。□ C⑤調べる内容について、予想をさせる。□ C⑥資料（写真、教科書等の文章等）を一つずつ確認し、どのようなことが分かる資料なのか考えさせる。✓ C⑦教師が指示した資料で調べさせる。✓ C⑧立場ごとに、資料を分けて提示する。□ C⑨様々な資料を見せ、読み取りの視点を増やす。□ C⑩学習問題や学習課題（本時のめあて）の解決に必要な情報であるのか考えさせる。□ C⑪調べた内容をペアやグループで伝え合わせ、確認させる。✓ C⑫調べた内容について、問い返して、事実を相互に関連付けて考えさせる。✓ C⑬学習問題について、学習課題（本時のめあて）とのつながりを考えて記述させる。✓	D①事実を調べた後に、意味を問う発問を段階的に行う。□ D②調べた事実と考えを明確に分けさせる。□ D③根拠となる資料を確認する。□ D④話し合いの目的・ゴールを示す。□ D⑤考えをペアやグループで伝え合わせる。□ D⑥視点の基に、考えをまとめる。□ D⑦視点同士を比較させ、考えをまとめる。□ D⑧まとめ方を例示する。□ D⑨キーワードを挙げる。□ D⑩まとめ方に関する判定基準を示す。✓ D⑪掲示物を活用し、これまでの学習を振り返らせる。✓	E①単元全体のまとめ方を例示する。□ E②キーワードを挙げる。□ E③単元全体のまとめ方に関する判定基準を示す。□ E④ノートやワークシート、掲示物などを活用し、これまでの学習を振り返らせる。□	F①新たな学習問題を提示する。□ F②社会的問題を含んだ資料を提示し、学習問題を設定する。□ F③ゲストティーチャーに新たな学習問題につながる情報を話してもらう。□ F④学んだことと自分たちの生活（自分にできること）をつなげて考えさせる。□

✓ …現在取り入れていると判断した手立て

○ …今月実践の単元で取り入れることを決定した手立て

単元「特色のある地域と私たちの暮らし」

目指す姿（思考・判断・表現）
キーワード(問い)を関連付けて、大きな問いを作ることができる。
取り入れた手立て（手引きの記号、番号）
気づきや疑問を教師が意識的に仲間（キーワード）分けして板書する。（A④） キーワード（問い）に着目させ、自分たちの疑問を解決させるための大きな問いが学習問題であることを確認する。（☆手引きに掲載していない手立て）

児童のワークシートの記述を基に、以下のA，B，Cの判定基準で評価を行った。 A 資料から気づきや疑問をもち、「取り組み」と「思い」の両方を追究できるような学習問題を記述している。【21 名】 B 資料から気づきや疑問をもち、「取り組み」と「思い」のどちらか1つを追究できるような学習問題を記述している。【3 名】 C Bに達していない。【1 名】
【抽出児の記述】 有田焼のまちづくりや観光は、どんな思いでサンタとかかざりをつけているのか。
【考察】 10 月実践に比べると、L児のように、追究の視点に関わるキーワードを盛り込み学習問題を記述することができた児童の割合が増えた。A④の手立てに加え、2つのキーワードに着目させ、このキーワードは児童の気づきや疑問を基にしていること、疑問を解決する大きな問題が学習問題であることを確認した。また、学習問題を記述させる前に2つのキーワードに着目して記述するように伝えたことで、2つのキーワードを追究の視点として捉え、学習問題として記述できた児童の割合が増えたと考える。

【実践 5】12 月実践

学習過程	課題把握		課題追究		課題解決	新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り
知識			(1) 個別の具体的な知識に関する内容を記述することができる。☑⇒C①②③④⑤ (2) 個別の具体的な知識に関する内容を関連付けて（つなげて）、記述することができる。☐⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⇒D①⑩⑪ (3) 個別の具体的な知識に関する内容を総合して（まとめて）、記述することができる。☐⇒C①②③④⑤⇒D①⑧⑨⑩⑪⇒E①②③④			
技能 (収集する読み取るまとめる)			(1) 学習問題や学習課題（本時のめあて）を解決するために必要な資料を集めることができる。☑⇒C①②③ (2) その資料がどのような資料に分かっている。☐⇒C⑥⑦⑧ (3) 事実を正確に読み取っている。☐⇒C④⑤⑥⑦⑧ (4) 学習問題や学習課題（本時のめあて）を解決するために有用な情報を選んで読み取っている。☐⇒B①⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ (5) 目的や自分の意図に基づいてまとめることができる。☐⇒C⑥⑦⑧⑨⑩			
思考・判断・表現	(1) 資料を基に気付きをもつことができる。☑ ⇒A①② (2) 資料を基に疑問をもつことができる。☑ ⇒A①②③ (3) 疑問に対して、予想をすることができる。☑ ⇒A⑤⑥ (4) 気付きや疑問から、キーワード（問い）をつくることできる。☑ ⇒A④⑤⑥⑦ (5) キーワード（問い）を関連付けて、大きな問いをつくることできる。☑ ⇒A④⑦⑧⑨	(1) 学習問題に対して、予想をすることができる。☑ ⇒B① (2) 自分が調べたいことを考えることができる。☑ ⇒B①② (3) 学習問題を解決するために、何をどのような方法で調べるとよいか、具体的に考えることができる。☑ ⇒B①②③	(1) 本時で分かったことを基に、学習問題の解決のために次から何を調べるとよいか考えることができる。☐ ⇒C①②③⑩⑪	(1) 調べた事実を基に、考えられることを導き出すことができる。☐ ⇒C⑩⇒D①②③ (2) 資料を使って意見を述べたり、記述したりすることができる。☐ ⇒D②③④⑤ (3) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考えることができる。☐ ⇒D④⑤⑥⑦ (4) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考えた上で、一番重視したい立場を選択することができる。☐ ⇒D④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪	(1) これまでに学習してきたことを基に、自分の考えをもつことができる。☐ ⇒E①②③④ (2) 友達のことを比較・関連付け、意見を述べたり、記述したりすることができる。☐ ⇒E①②③④	(1) 学習した内容から似た事象や当てはまりそうな事象がないか考えることができる。☐ ⇒F④ (2) 新たに調べたいことを考えることができる。☐ ⇒F①②③
主体的に学習に取り組む態度	(1) 本時のめあてを解決するために、何を調べるとよいか見通しをもっている。☑⇒B①②③⇒C①②③ (2) 今調べたり考えたりしていることが、学習問題の解決のためにどのようにつながっているのか理解している。☐⇒B①②③⇒C①②③⑩ (3) 社会的な事象について、実感や切実感をもって調べたり考えたり、話し合ったりすることができる。☐⇒A①②③④⑤⑥⑦⑧⑨ (4) 調べたことや考えたことを基に、今後の生活に生かせることはないか考えることができる。☐A①⇒F①②③④					

☑ …できていると判断した児童の姿

☐ …目指す児童の姿

学習過程	課題把握		課題追究		課題解決	新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り
手立て	A①身近なことを題材に挙げる。☑ A②資料提示の工夫（資料の一部を隠すなど）を行う。☑ A③題材に対して気付きや疑問をもたせる。☑ A④気付きや疑問を教師が意識的に仲間（キーワード）分けて板書する。☑ A⑤気付きや疑問に対して、問い返しをしながら、児童に予想を出させる。☑ A⑥自分の考えをもちやすい場面（予想など）で、自分と相手の意見が同じか違うか考えさせながら対話させる。☑ A⑦気付きや疑問を基に、調べていきたいことを考えさせる。☑ A⑧調べていきたいことを学習問題として書かせる。☑ A⑨個別にもった学習問題を全体で交流し、学習問題を設定する。☑	B①学習問題の解決のために何を調べるとよいかを考えさせる。☑ B②調べるとよいか考えたことをグループで、何から調べたらよいか考えさせる。☑ B③学習問題の解決のために何を調べるとよいか調べる方法を考えさせる。☑	C①学習問題を確認する。☑ C②調べた内容を図や表に表し、単元全体を見通すことができる。☑ C③学習問題と学習計画を教室内に掲示し、常に振り返らせる。☑ C④調べた内容（視点）を確認する。☐ C⑤調べた内容について、予想をさせる。☐ C⑥資料（写真、教科書等の文章等）を一つずつ確認し、どのようなことが分かる資料なのか考えさせる。☐ C⑦教師が指示した資料で調べさせる。☐ C⑧立場ごとに、資料を分けて提示する。☐ C⑨様々な資料を見せ、読み取りの視点を増やす。☐ C⑩学習問題や学習課題（本時のめあて）の解決に必要な情報であるか考えさせる。☐ C⑪調べた内容をペアやグループで伝え合わせ、確認させる。☑ C⑫調べた内容について、問い返して、事実を相互に関連付けて考えさせる。☑ C⑬学習問題について、学習課題（本時のめあて）とのつながりを考えて記述させる。☐	D①事実を調べた後に、意味を問う発問を段階的に行う。☐ D②調べた事実と考えを明確に分けさせる。☐ D③根拠となる資料を確認する。☐ D④話し合いの目的・ゴールを示す。☐ D⑤考えをペアやグループで伝え合わせる。☐ D⑥視点を基に、考えをもたせる。☐ D⑦視点同士を比較させ、考えをもたせる。☐ D⑧まとめ方を例示する。☐ D⑨キーワードを挙げる。☐ D⑩まとめ方に関する判定基準を示す。☐ D⑪提示物を活用し、これまでの学習を振り返らせる。☐	E①単元全体のまとめ方を例示する。☐ E②キーワードを挙げる。☐ E③単元全体のまとめ方に関する判定基準を示す。☐ E④ノートやワークシート、掲示物などを活用し、これまでの学習を振り返らせる。☐	F①新たな学習問題を提示する。☐ F②社会的問題を含んだ資料を提示し、学習問題を設定する。☐ F③ゲストティーチャーに新たな学習問題につながる情報を話してもらふ。☐ F④学んだことと自分たちの生活（自分にできること）とをつなげて考えさせる。☐

☑ …現在取り入れていると判断した手立て

○ …今月実践の単元で取り入れることを決定した手立て

単元「郷土の発展に尽くす」

目指す姿（知識）
個別の具体的な知識に関する内容を関連付けて（つなげて）、記述することができる。
取り入れた手立て（手引きの記号、番号）
まとめ方に関する判定基準を示す。（D⑩）
掲示物を活用し、これまでの学習を振り返らせる。（D⑪）

児童のワークシートの記述を基に、以下の A, B, C の判定基準で評価を行った。※欠席：2 名 A 吉村新兵衛とその子孫について、「思い」「歴史」「お茶づくり」の 3 つの視点を関連付けて、記述している。【14 名】 B 吉村新兵衛とその子孫について、「思い」「歴史」「お茶づくり」のいずれかの視点をもって記述している。【9 名】 C B に達していない。【0 名】
【抽出児の記述】 新兵衛さんは、白石に生まれお仕事で皿屋谷に来て失敗して切腹しなくなりました。だが、父親と祖父がよいことをしたのでまぬがれた。恩を感じた新兵衛さんは、恩返しのためにしっかりやるぞとお茶づくりに取り組んだ。でも、そこは山なので、自ら切り開いて、荒れ地をたがやした。そして、種をまいて育てた。新兵衛の子孫たちは、さらにお茶づくりを広げていった。
【考察】 「個別の具体的な知識に関する内容を関連付けて（つなげて）考える」ということを意識することができるよう、「関係のある内容をつなげて書くことができたら合格です」とまとめ方に関する判定基準を伝えた。また、掲示物に着目させて、これまでの学習を振り返らせた。L 児の記述を読むと、「恩返しのためにしっかりやるぞ（思い）」「誕生～お茶づくり～子孫の取り組み（歴史）」「荒れ地の開墾～種まき（お茶づくり）」を関連付けながら、記述していることが分かる。L 児のように、「思い」「歴史」「お茶づくり」の 3 つの視点を関連付けて記述することができた児童が半数以上いた。 また、手引きには指示がされていなかったが、これまで継続して取り入れてきた D⑩の手立ての成果が出ていると判断した。個別の具体的な知識に関する内容を関連付けて（つなげて）記述させる上で、D⑩の手立ては効果的だと考え、手引きに追加することにした。

目指す姿（技能）
その資料がどのような資料分かっている。
取り入れた手立て（手引きの記号、番号）
資料（写真、教科書等の文章等）を一つずつ確認し、どのようなことが分かる資料なのか考えさせる。（C⑥）
教師が指示した資料で調べさせる。（C⑦）


児童のワークシートの記述を基に、以下の A, B, C の判定基準で評価を行った。

A 資料から分かる事実に意味付けをして記述している。【17 名】

B 資料から分かる事実のみを記述している。【6 名】

C B に達していない。【2 名】

【抽出児の記述】

茶畑と田の広さがちがう。茶畑が広いということは、お茶づくりがさかんだということ。

【考察】

児童に提示する資料の数を限定して示した。また、円グラフ「学校周りの田畑の割合」を示し、単位や見方を確認した後、どのようなことが分かるのか書くように伝えた。L 児の記述を読むと、資料から「茶畑が広い」ということを読み取るだけでなく、広いということはお茶づくりが盛んであるというように、意味付けをしていることが分かる。このような資料の読み取りができた児童が全体の 6 割以上いた。C⑥と C⑦の手立てが、資料の読み取りにおいて有効であることが分かった。



1 月実践へ

研究委員の振り返り

資料 1 と資料 2 は、A 校第 4 学年において授業の質的改善に取り組まれた A 先生の手引きです。質的改善に取り組みながら、児童ができるようになったことが増え（資料 1）、教師が取り入れた手立てが増えていくことが分かります（資料 2）。学習過程「課題把握（動機付け）」を中心に、授業の質的改善に取り組みながら、自身の授業力を高めていかれたと思います。児童に力を付けることと教師自身の指導力を高めることは表裏一体と言えるでしょう。

A 先生は、9 月以降の実践において、手引きに掲載している手立てをそのまま取り入れるだけでなく、児童の実態に応じて手立てが更に機能するような細かな手立ても同時に取り入れていました（16 頁参照）。また A 先生は、9 月から手引きで指示されていない手立てを継続して取り組み（9 頁参照）、12 月に児童の姿を基に手立ての有効性を実証することで、手引きの手立てについて修正を図ることができました（18 頁参照）。

子供たちはできていますか。チェックしてみてください。印がつかない場合は、⇒が示す手立てについて自分の指導を振り返ってみましょう。						
過程	動機付け	課題把握	方向付け	情報収集	考察・推察	課題解決
知識						
技能						
思考力、判断力、表現力等						
主体的に学習意欲を高め						

資料 1 A 先生が実際に使用した手引き（資質・能力）

先生は、手順 1・手順 2 で示した手立てを取り入れた。意識して行っていますか。チェックしてみてください。印がつかない場合は、授業に取り入れてみましょう。						
学習過程	動機付け	課題把握	方向付け	情報収集	考察・推察	課題解決
主な学習過程の例	●学習意欲を喚起する。 ・社会的現象を知る。 ・既知の事柄を思い出させる。 ・学習意欲を喚起する。	●課題解決の意欲を喚起する。 ・予想や仮説を立てる。 ・調査方法、調査方法を明確にする。 ・学習計画を立てる。	●予想や仮説の検証に向けて調べる。 ・学校内外での観察や調査などを通して調べる。 ・様々な種類の資料を活用して調べる。 ・他の児童生徒と情報を交換する。	●社会的現象の意味や背景、特色や関連の事柄を考察する。 ・多面的・多角的に考察する。 ・話し合う（討議） ●社会に与える課題を把握して解決に向けて調べる。 ・複数の立場や意見を踏まえて解決に向けて考察・判断する。	●考察したことや推察したこととをまとめる。 ・学習意欲を喚起する、結論を導く。 ・学習意欲を学校外の他者に伝える。 ・新たな問い（課題）を見いだしたり追究したりする。	●学習意欲を喚起する。 ・自分の調べ方や学び方、結果を振り返る。 ・学習意欲を学校外の他者に伝える。 ・新たな問い（課題）を見いだしたり追究したりする。
主眼点・評価観点で示した観点・観点	○児童に既知の事柄を思い出させてから、学習意欲を喚起する。	○設定した学習課題を基に、学習計画を立てさせる。	○学習意欲の中で、学習課題と学習計画の両方について（学習課題）とのつながりを意識させる。	○身に付けた知識の活用を促す学習課題（論議）を設定する。 ○調べたことについて自分なりの結論を導かせる。	○単元全体を振り返り、学習意欲について自分の考えをまとめる。	○学習意欲について考えたことを、今後調べるべきことをまとめる。
手立て	A①身近なことを題材に挙げ、 A②資料使用の工夫（資料の形を工夫） A③題材に対して既知の事柄を思い出させる。 A④既知の事柄を教師が積極的に特長（キーワード）分けして教える。 A⑤既知の事柄に対して、問い返しをしながら、児童に予想をさせる。 A⑥自分の考えを述べたり、自分の考えを聞き取りながら、自分の考えをまとめる。 A⑦既知の事柄を基に、調べたいことを考えさせる。 A⑧調べたいことを学習課題として設定する。 A⑨個別に持った学習課題を全体で交流し、学習の学習課題を設定する。	B①学習課題の解決のために何を調べるのかを考えた上で、調べたいことをグループ・インタビュー。何から調べたいかを考えさせる。 B②調べたいことをグループ・インタビュー。何から調べたいかを考えさせる。 B③学習課題の解決のために調べたいことをグループ・インタビュー。何から調べたいかを考えさせる。 B④調べたいことをグループ・インタビュー。何から調べたいかを考えさせる。 B⑤調べたいことをグループ・インタビュー。何から調べたいかを考えさせる。 B⑥調べたいことをグループ・インタビュー。何から調べたいかを考えさせる。 B⑦調べたいことをグループ・インタビュー。何から調べたいかを考えさせる。 B⑧調べたいことをグループ・インタビュー。何から調べたいかを考えさせる。 B⑨調べたいことをグループ・インタビュー。何から調べたいかを考えさせる。	C①学習課題を確認する。 C②調べたいことをグループ・インタビュー。何から調べたいかを考えさせる。 C③調べたいことをグループ・インタビュー。何から調べたいかを考えさせる。 C④調べたいことをグループ・インタビュー。何から調べたいかを考えさせる。 C⑤調べたいことをグループ・インタビュー。何から調べたいかを考えさせる。 C⑥調べたいことをグループ・インタビュー。何から調べたいかを考えさせる。 C⑦調べたいことをグループ・インタビュー。何から調べたいかを考えさせる。 C⑧調べたいことをグループ・インタビュー。何から調べたいかを考えさせる。 C⑨調べたいことをグループ・インタビュー。何から調べたいかを考えさせる。	D①調べたいことをグループ・インタビュー。何から調べたいかを考えさせる。 D②調べたいことをグループ・インタビュー。何から調べたいかを考えさせる。 D③調べたいことをグループ・インタビュー。何から調べたいかを考えさせる。 D④調べたいことをグループ・インタビュー。何から調べたいかを考えさせる。 D⑤調べたいことをグループ・インタビュー。何から調べたいかを考えさせる。 D⑥調べたいことをグループ・インタビュー。何から調べたいかを考えさせる。 D⑦調べたいことをグループ・インタビュー。何から調べたいかを考えさせる。 D⑧調べたいことをグループ・インタビュー。何から調べたいかを考えさせる。 D⑨調べたいことをグループ・インタビュー。何から調べたいかを考えさせる。	E①調べたいことをグループ・インタビュー。何から調べたいかを考えさせる。 E②調べたいことをグループ・インタビュー。何から調べたいかを考えさせる。 E③調べたいことをグループ・インタビュー。何から調べたいかを考えさせる。 E④調べたいことをグループ・インタビュー。何から調べたいかを考えさせる。 E⑤調べたいことをグループ・インタビュー。何から調べたいかを考えさせる。 E⑥調べたいことをグループ・インタビュー。何から調べたいかを考えさせる。 E⑦調べたいことをグループ・インタビュー。何から調べたいかを考えさせる。 E⑧調べたいことをグループ・インタビュー。何から調べたいかを考えさせる。 E⑨調べたいことをグループ・インタビュー。何から調べたいかを考えさせる。	F①調べたいことをグループ・インタビュー。何から調べたいかを考えさせる。 F②調べたいことをグループ・インタビュー。何から調べたいかを考えさせる。 F③調べたいことをグループ・インタビュー。何から調べたいかを考えさせる。 F④調べたいことをグループ・インタビュー。何から調べたいかを考えさせる。 F⑤調べたいことをグループ・インタビュー。何から調べたいかを考えさせる。 F⑥調べたいことをグループ・インタビュー。何から調べたいかを考えさせる。 F⑦調べたいことをグループ・インタビュー。何から調べたいかを考えさせる。 F⑧調べたいことをグループ・インタビュー。何から調べたいかを考えさせる。 F⑨調べたいことをグループ・インタビュー。何から調べたいかを考えさせる。

資料 2 A 先生が実際に使用した手引き（手立て）

※資料 1 と資料 2 は今年度の研究当初のものです。質的改善の推移は、修正を図ったものを基に示しています。

最後に全 6 回の研究委員会を終え、6 月から 11 月までの質的改善の日々を振り返った A 先生の記述を紹介します。

「ふだんの授業の不断の改善」という教師として基本的な仕事について改めて深く学ぶことができました。日々少しずつ自分の手立てで子供たちが変化していくすばらしさを味わうことができ、自分の自信につながりました。今後も慢心することなく、ふだんの授業の不断の見直しに取り組めるように努力します！

